

上勝自然学校

# もりのべ

ニュースレター(2018年7月)第2号

もりのべは森を校舎にした自然学校です。徳島県上勝町、徳島大学、米国ポートランドのトライアングルで2017年の夏から始まりました。



## 雨に学ぶ。初夏キャンプ2018を開催！



2018年6月23～24日、上勝自然学校“もりのべ”初夏キャンプが行われました。初日は雨。でも、子ども達は米国オレゴン州ポートランドからやってきたマット先生と出会い、「カエルの物語」の英語朗読とそれを日本語で伝える吉田校長の語りから「森」にいるんだ！と実感し「オタマジャクシを探しに行こう！」と好奇心を高めて飛び出して行きました。子どもたちは、雨に学び、晴れを楽しみながら、友達、大学生、集落の人々と一緒に、探検、発見、驚きの時間を過ごしました。自然とつながり、生きること、地球のあり方を感じたようです。

## ～キャンプ開催予定～

### ○サマーキャンプ2018

8月15日（水）、16日（木）指導者向け

8月17日（金）子供向け「もりのたからさがし」

詳細は、もりのべHP <http://morinobe.org>

または、徳島大学上勝学舎 <http://www.tokushima-u.ac.jp/cr/kamikatsu>

### ○アウトドアキッチン製作ワークショップ2018

8月13（月）～20日（月）の期間にプログラム化の予定

※詳細は決まり次第案内します。

## 初夏キャンプ参加者のふりかえり

### 子ども

- ・オタマジャクシ、いもりにさわった。
- ・いもりのおながか赤くてはじめて知った。
- ・雨にぬれて遊んだことが楽しかった。
- ・山でカニを見た。
- ・いろいろなひととキャンプができてたのしかった。

### 保護者

- ・息子にとっては初めての山登りで途中抱っこと言われるだろうと思っていたが、予想を反してほとんど止まることなく歩き続けどんどん先に行き追いつけないほどでびっくりした。
- ・森の恵み、生命力を肌で感じた。
- ・いつも「汚れる！」や「ぬれる！」と言いがちですが、生き生きとし楽しそうにして遊ぶ姿が見られて良かったです。

## ～上勝町なう～



6月下旬から7月初旬にかけては晩茶の茶摘みの季節です。昨年のサマーキャンプの準備の折にはマツト先生も加わってみんなで茶摘みと晩茶づくりを体験しました。

## ～スタッフなう～



初夏キャンプ6/23のランチは集落の平岡京子さんによる市宇ローカル「五目ちらし」でした。賽の目に茹でたジャガイモ、コンニャク、ゴボウ、人参、椎茸。寿司桶に盛り付けたら、旦那さんの平岡友一さんが天秤棒で人力輸送。絶品！まるで違う美味しさがありました。

編集後記：もりのべ2018プログラムがスタートしました。実験的に実施した初夏キャンプは雨の森での活動となり安全管理を優先しながらの実施となりましたが、参加者の皆さんからは雨を感じて、その意味を学びながら、共に過ごす時間を楽しんだという感想が多く寄せられほっとしています。これからも森の四季に学ぶ場を作っていきたいと思います。

2018年7月1日発行

発行人：もりのべ実行委員会 編集長：柏谷佳子